

No.	職種	今回の感想	次回希望テーマ	自由記入欄
1	PT	凄く考えさせられる内容でした。人の価値観は様々で優先したいことも多様だと思います。全てを捉えることは難しいと思います。Updateを重ね、少しずつ熟成さるようには手帳を作り上げていくのは良いかと思います。		
2	その他	市長や行政の考えが聞けて大変参考になりました。	孤独死を防ぐ方法など	
3	看護師	人生手帳の目的・用途によって手帳を分けた方が良いと思いました。書く内容を選び、その内容を活用してほしい人と共有できるものがよいと思いました。		
4	看護師	ざっくばらんに話しができてよかった。様々な案があり参考になった。	在宅での看取り ACPについて	
5	薬剤師	エンディングノートを知るよい機会となった。自分もだが親世代がちゃんと準備してるか確認してみようと思う。		
6	介護支援専門員	書いてみると書きにくい内容で、書く所が多く大変だと感じた。		
7	歯科医師	今後、家族がなく意思確認が困難な状態で周囲（事業者や行政）が「名も無き仕事」を行わざるをえない状況が増えると思われる。自分のエンディングについて考える人を増やす取り組みはとても重要ですが、そう考えない人への対応も行政としては仕組みを作らないと大変なことになるのだと思います。		web版エンディングノートもあると面白いかも。時々更新して、終わりには行政担当者が鍵を開けられるとか。
8	介護支援専門員	私の人生手帳について、その中身行政が何を求めているのかそこがまだあいまいであるということを感じた。個人的には、終末期の部分に特化したものをしっかり書いてもらい、それが緊急時にしっかり伝わるような仕組みを作してほしい。	身寄りのない方の医療について 保証人問題	この会は先生と直接色々なお話ができてとても勉強になっております。
9	薬剤師	難しい問題ですが楽しく話げできました。	ACP	
10	看護師	なかなか全部書くのは難しかったです。アプリだと手書きや音声など入れることが出来ると思いました。見せたい人、見せたくない人を設定もできると思います。		
11	看護師	意見を聞けて良かったです。形にする上では色々難しいのではと感じました。		
12	介護支援専門員	ノートでもアプリでも記入する目的や必要性をしっかり周知し、誰もが理解してすすんで活用できるものにしていく必要があるという事を実感しました。		
13	PT	率直にいろいろな意見を聞けて良かった。	ACPや事前指示のなかった実例での困難事例（身寄りのない人、単身者など）これから増えていくと追われる事例を上げて	会を開催していただきありがとうございました。

No.	職種	今回の感想	次回希望テーマ	自由記入欄
14	看護師	まず「人生手帳」について自分の人生・生い立ち・今後を考えさせられるものであったと思った。家庭で「延命したくないよね」「何もしないで」と話しをすることはあるが、手帳に記すことで自分の思いを再確認・共有しやすいと思った。内容としては量が多く、深い部分もあるので書きにくい所もあった。ただ、全て記入する必要はなく自分が書きたい部分だけ書けば良いと思った。		
15	薬学生	人生手帳を記入してもらって大変さが分かった。自分のことをまとめる難しさ。エンディングノートについての色々な意見を聞けて良かった。		
16	介護支援専門員	初めての参加でしたが、有意義な時間でした。		
17	薬学生	エンディングノートについてどのような世代の方にどういうことを書いてもらうのかという事を今まで考える機会はなかったので興味深かった。医療職だけでなく、知識のない人も気軽に書けるノートになると良いと思った。		
18	医師	所属・職種が様々な方々とお話しできて楽しい時間になりました。エンディングノートが目指すところ、ターゲットについて、最初の米子市さんからの説明にも一部含まれていましたが、そのあたりの目的が明確になるとグループ内のワークが円滑にできたのではないかと感じました。（目的が不明確だとQ1～Q3のいずれも話がかみ合いにくいのではと感じました）他のグループのワーク内容の共有、勉強になりました。	特になし	
19	PT	人生手帳について理解ができた。一般の方に全部書いてもらうには量が多いと感じた。		
20	ST	様々なグループの意見を聞けて、なるほどなと思いながら考えさせられることの多い研修でした。自分のことも考えられていないので、まず自分に何かあった時にどうしてほしいかを家族に伝え、話をしてみたいと思いました。		
21	薬剤師	米子市発のエンディングノートとても難しいと思います。目的が複数存在するので情報が膨大になり、一冊にまとめるのは難しそうです。記載した情報とその用途が分かりやすいと良いと思います。		
22	薬剤師	「私の人生手帳」内容は盛り沢山ですが、逆に多すぎて誰に見せるのか、誰が見るのか、どこに保管するのか…		
23	無回答	年齢的に人生手帳になじみがないけど、私自身を見直すために記入してみようかな？と思った。		

No.	職種	今回の感想	次回希望テーマ	自由記入欄
24	看護師	実際に書いてみることで書きにくさや自分でいろいろ考える機会をもらった。グループで話すことで、自分では気づかなかった視点が得られたのは大きかった。		
25	看護師	まずは今回の研究会を通じて、自分自身がエンディングノート記載をし、自分の今後について考えてみようと思いました。米子市オリジナルのものができたら、普及のためにできる事をしたいと思いました。		
26	薬剤師	多職種にてさまざまな問題点を検討できた。		
27	保健師	グループワークで改めて人生手帳を見直した時、書き手の立場になって考えることができた。長寿社会課の皆さんと協力してよいものをつくりたいですね。		
28	社会福祉士	様々なノートが世間にはあるが、きちんと書かれている人はもともと終活をされている方だと思う。グループの中で出た意見はとても参考になった。内容の見直しは必要ではあるが、自分を見つめなおす自分の人生をどう生きぬくかきっかけの一つになると思う。	身寄りのない人の身元保証	
29	OT	「私の人生手帳」という名称だが、実際に記入しようと思う時期はいつだろう？一人でこのボリュームのものをうめるのは大変だなと感じた。		
30	行政	米子市が使用しているエンディングノートについて現状と課題の整理ができた。意思表示をしていただくことができるようにしたい考えだが、個人情報の観点での整理が必要に感じた。専門用語の注釈は必要であると感じた。	特になし	
31	薬剤師	市民の方へ広く普及させたいエンディングノート。自分の親にもぜひ書いて欲しいと思っています。ですが、内容が多岐にわたり、専門用語が多くあり、事前に記入しておくことは非常に難しいと思いました。極めてプライベートな質問に答えることで自身を振り返るのは大切だと思うが、他人の目に触れるかもしれないノートに書くことがそもそも難しいと感じた。 行政主導で目的をしっかりと持って進めていただきたい。		
32	医師	伊木市長の熱い思いが伝わってきた。必要性はわかるが、前提や分かりやすい記載しやすい項目にしていくことが大切だと思います。		
33	社会福祉士	エンディングノートについて普段聞くことが出来ない色々な職種の方から意見を聞き、新しい考え方を知ることができたと思った。すぐに普及は難しいと思うが、まず関わる私たちが触れて、記入してみることから始めたい。		

No.	職種	今回の感想	次回希望テーマ	自由記入欄
34	保健師	多職種での意見交換が有意義でした。医師や歯科医師とのディスカッションが特によかったです。勉強になった。（医療的な視点）		
35	介護支援専門員	久し振りに参加し、やはりこの会はいつも「参加して良かった」と思える会であることを再認識しました。今、当たり前のようにエンディングノートの記載がすすめられていますが、一体何のために誰のために書くのか…がしっかりと明確でないと日々流行のことをしているだけになると思います。今日の発表でみなさんが話されたことに改めて共感するところが多かった。実のある会に今日も参加できて良かったです。		
36	介護支援専門員	ただ文字を書き込んでいっても楽しくない。写真など画像を入れることで家族と一緒に楽しみながら書けて、愛着も持てるようになるのではという意見にとっても共感できました。	アプリ化のメリット・デメリット、可能性	アプリ化はありだと思いました。
37	薬学生	死に方というものを考えたことがなかったが、患者さんに向き合うということは、患者さんの死に向き合うこともあるのだと実感した。死に向き合うことは、プライベートなことでは考えにくい事だと思っていたが、もっと日常的に話しができる雰囲気作りが必要だと考える。現場の先生方のお話が聞くことができ、良い機会となりました。		
38	保健師	今あるものを修正するという事でグループで話していたのですが、最後、他のグループの話も聞いて、一冊でなくてもいいのだと考え直した。一人ではなかなか書けないところも多いので、いろんな人と話しながら書けると良いと思います。		
39	薬剤師	私の人生ノート、エンディングノートについて有意義なディスカッションで大変勉強させていただきました。ありがとうございました。		
40	看護師	色々良い意見がたくさん出たと思います。より現実的な手帳ができるのではないかと期待したいと思いました。		
41	保健師	とても勉強になりました。人によって感じ方は違うので、全員にとって納得がいくものにすることは難しいと思いますが、今日のように色々な立場から意見を出し合うことで、より良いものとなり多くの人の手に渡って「書いてみよう」と思ってもらえると良いなと思いました。		
42	OT	米子市の人生手帳の取り組みを知り、実際にやってみて改善点をグループで話し合い、たくさん直した方が良いところがでてきて良い機会でした。自分はまだ2年目で経験も知識もないですが、他施設・多職種のひとと1つのテーマに対し色々な意見を聞くことができて楽しかったです。ありがとうございました。		

No.	職種	今回の感想	次回希望テーマ	自由記入欄
43	看護師	大変興味のある議題でした。自分自身も向き合っていかなければならないと思いました。		
44	看護師	皆さんからの意見にもあったように、何の為にこの項目を記載するのか？よくわからない所もあり、説明が必要と感じた。そして多すぎて書く気になれない。 フレイルが広まってきたように思いますが、まだまだ「フレイル」という言葉知らない患者さんの方が多いです。エンディングノートも広めるにはかなり時間がかかりそう。子供のころから「自分について」や「大事にしたいこと」、「これからの私」について見つめられるような教育の機会があるべき、という意見もありました。あとは“紙”運用で広く周知するのはやはり難しいのではないかと思います。		
45	看護師	普段から「もし自分が…」ということを考えることもありましたが、実際文字にしてみると難しいなと感じました。実際に記載内容を見直すタイミングも必要だなと感じます。制度のことや連絡先を確認できるのは良いと思いました。 いろいろな意見を聞くことができ、初めての参加でしたが良かったです。		
46	社会福祉士	若い方にも意識をしていただけるようアプリなどデジタルで選択しながら入力できるような物もあってもよいのかなと思いました。自分や親に今書いてみてとすすめられるようにするには皆さんの意見にあったように用語など砕いたり、場面別（目的別）に記入できるようなものがよいのかなと思いました。		
47	その他	いろいろな職種の方と話しができ、色々な考え方が知れてよかった。		
48	ST	人生ノートを書くにあたって、かなりのボリュームがあるうえ、その都度その都度で考えも変わっていくので、アプリで入力できるようになった方が修正もしやすく使いやすいと思う。また今後の世代の人に普及させるのに紙ベースはなかなか広まらないのではないかな。もう少し簡易版などあれば書く気になる。		
49	社会福祉士	書いてみることで、自分事として考えることができました。人生手帳、解体からの米子市バージョン作成を期待します。		
50	看護師	米子市（行政）が取り組みを開始していることに検討させて頂けて良かった。医療・福祉・行政の連携ができると思う。		
51	看護師	色々な職種や年齢の方とエンディングノートの内容について一考する貴重な機会となりました。自分自身も包括職員として地域住民の方々へ向けた終活支援の手法について、個人的にも自部署内でも再考していきたいと考えました。ありがとうございました。		

No.	職種	今回の感想	次回希望テーマ	自由記入欄
52	看護師	実際に人生手帳を記入してみて、「書きにくいな。これを人に見られるのはちょっと…」と考える項目が多いことに気付きました。包括センターで高齢者の人に対して普及するよう話は出ているのですが、自分が書いてみて難しさを感じました。より書きやすい、取っつきやすいものへと改定を期待します。		
53	医師	私の人生手帳、あんしん手帳について知る事ができて良かった。もう少し利用の方法を考えて行ければと思います。		
54	介護福祉士	自施設で看取りに関わるところの委員会をしているためグループワークで他の方の話がとても参考になりました。その他のグループの発表もとても参考になりました。		
55	保健師	とてもいい企画・例会でした。いざ自分で書くとなると先々のことを考えて書く必要があるのもまだまだ認知症になったりあの世には行けないと思いました。自分は残された人の為に書くのではと思います。今後のことを考えるきっかけになりよかったです。		
56	精神保健福祉士	グループワークで皆様の違う立場の意見を聞くことができて良かった。また、安心して話せる雰囲気良かった。自分自身の人生手帳をまず改めて作成したい。		
57	医師	私の人生手帳は煩雑で利用しにくいのですが、改善するためには良いディスカッションになった。	認知症のケア	
58	行政	エンディングノートを書いていくにあたり、目的や内容等貴重な意見をたくさん聞くことができ、勉強になりました。ありがとうございました。		
59	事務	グループワークで皆さんの意見を聞くことができて良かった。エンディングノートは、人によって捉え方も違うので参考になった。		
60	事務	専門職の方のご意見を伺えて有意義な会でした。		
61	看護師	色々と考えさせてもらった研修会でした。		久々に参加させていただきました。
62	介護支援専門員	年齢的に興味のある内容でした。あまり難しく考えないで思いついたことをその都度書かためておく習慣を作りたいと思いました。	ACP	
63	介護支援専門員	多職種から様々な意見が出て、とても有意義な時間が過ごせました。人生手帳の内容について、自分の中で専門職でわかるところ、専門用語が多い事に気づけました。誰のために書くのか根本的な目的が自分の中の認識のズレがある事に気付きました。		

No.	職種	今回の感想	次回希望テーマ	自由記入欄
64	看護師	各グループでの意見を聞き、幅広く視野がひらけた。記入する必要性について、誰が担っていくのか、検討する必要があります。		
65	薬剤師	自分の年齢では普段はあまり考えないような内容を考える良い機会となった。		
66	歯科医師	自分の人生について再考するきっかけとなりました。家族と話し合うきっかけ作りになるとは思いました。		
67	看護師			終わりをダラダラと長くしないで欲しい
68	医師	今日の会が米子市さんの参考になると嬉しいです。 「相談先一覧」や「後見人制度」についてなど良い内容もある。ネガティブな意見が多かったが良いところもたくさんある事も認識して改正に臨んでほしい。	そろそろ有名人の講演会を聞きたい	
69	薬学生	今日までエンディングノートという言葉すらわかりませんでした、こういうことを考えておられる方もいるんだなぁと知れたので、そこは大きな成果だったと思いました。また、様々な方と交流できて良かったと感じます。		
70	薬剤師	エンディングノートについて改めて考える事のできるいい機会でした。 死ぬまでにしたい100の事、亡くなる前に後悔することランキングなどが載るとよりいいものになりそうな気がしました。プライベートな内容も多いため、より多くの人が安心して持つことができる手帳になればよいと思います。行政主体でやる事ですが、我々の意見が少しでも多く取り入れられると嬉しいです。家族用、自分用、要介護になった時用（医療介護用）、終末期用など分けて使用できたらよいと思います。「私の人生手帳」と「あんしん手帳」を使い分けを進めても良いのではないのでしょうか？		
71	介護支援専門員	人生手帳について意見交換ができて良かったです。ただ、この手帳を書く目的の広報・勉強が必要だと感じました。		